2015年9月期 第2四半期決算説明会



2015年6月1日

当資料取扱上の注意点

当資料に記載されている、当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、 歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した 想定及び所信に基づくものであります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる 結果となる可能性もある事をご承知おきください。

会社の事業に影響を与える可能性のある事項の詳細は、「2014年9月期 決算短信」の「事業等のリスク」をご参照ください。但し、業績に影響を与える可能性のある要素は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する 記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行 うことがございますので、ご了承ください。

【IRに関するお問い合わせ先】

経営企画室 IR担当

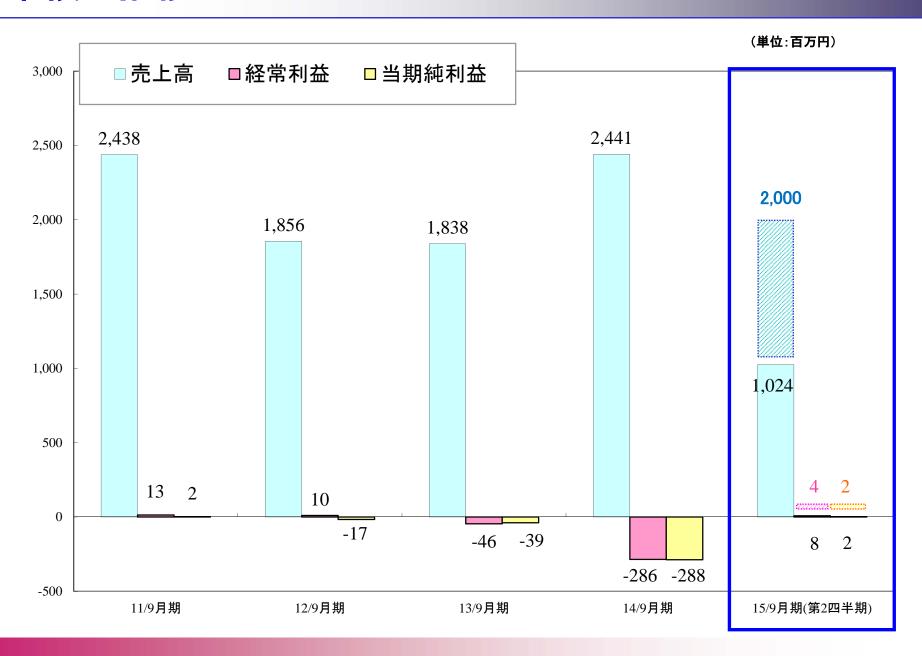
電話 : 03-5649-2100

E-Mail: ir@afs.co.ip





業績の推移



損益計算書

		15/9期貸	第2四半期((実績)	14/9期第	2四半期	
			構成比 (%)	前期比 (%)		構成比 (%)	コメント
	売上高	1,024	_	_	1,103	_	
	売上原価	675	65.9	85.4	790	71.7	
큵	- 上総利益	349	34.1	111.8	312	28.3	
	販管費	335	32.7	112.5	298	27.0	
	人件費	135	13.2	97.8	138	12.5	
	その他	200	19.5	125.0	160	14.5	
1	営業利益	13	1.3	96.0	14	1.3	
芦	営業外収益	1	0.1	260.4	0	0.0	
芦	営業外費用	6	0.6	93.2	6	0.6	
	経常利益	8	0.8	107.8	7	0.7	

社員数	93名	_	102名
	** _		· · -

貸借対照表

	14年9月期末	15年9月第2四半期末	増減額
流動資産	1,025	971	△53
固定資産	504	501	△2
(資産合計)	1,530	1,473	△57
流動負債	1,067	938	△128
固定負債	69	139	+ 69
(負債合計)	1,137	1,078	△59
1. 資本金	537	537	_
2. 資本剰余金	143	143	_
3. 利益剰余金	△40	△37	+ 2
4. 自己株式	△248	△248	0
(純資産合計)	393	395	+ 2
(負債・純資産合計)	1,530	1,473	△57

キャッシュフローの状況

	15/9期		14/9期	
	第2四半期 (実績)	増減額	第2四半期	コメント
営業活動	Δ22	+214	△236	
投資活動	△54	△19	△34	
財務活動	△146	△316	170	
現金及び現金同等物の増加額	Δ222	△121	△100	
現金及び現金同等物の期首残高	452	+31	421	
現金及び現金同等物の期末残高	230	△90	320	

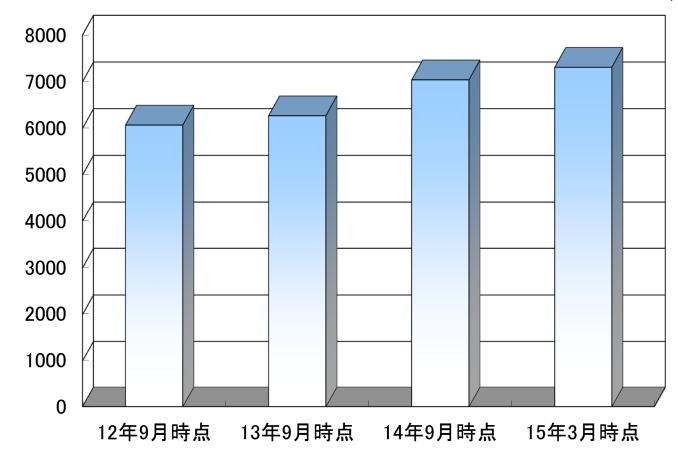
セグメント別売上高

セグメント	15/9期第2四半期(実績)			14/9期第2四半期		コメント	
E 7 7 2 1		構成比	前期比		構成比	コンフト	
ASPサービス 事業	489	47.8%	△10.4%	546	49.5%	月額報酬が緩やかながら回復傾向となった。(既存ユーザーの FOODGENESIS稼働開始が要因)	
システム機器事業	474	46.3%	7.0%	443	40.2%	システム機器の新規受注と既存 ユーザーの順調な新規出店が要 因	
周辺サービス 事業	61	6.0%	46.1%	113	10.3%	原価率の高い周辺機器の抑制を 実施したのが主な要因	
合計	1,024	_	△7.1%	1,103	_	_	

主な経営指標の推移①

● ASPサービス事業 - サービス提供数

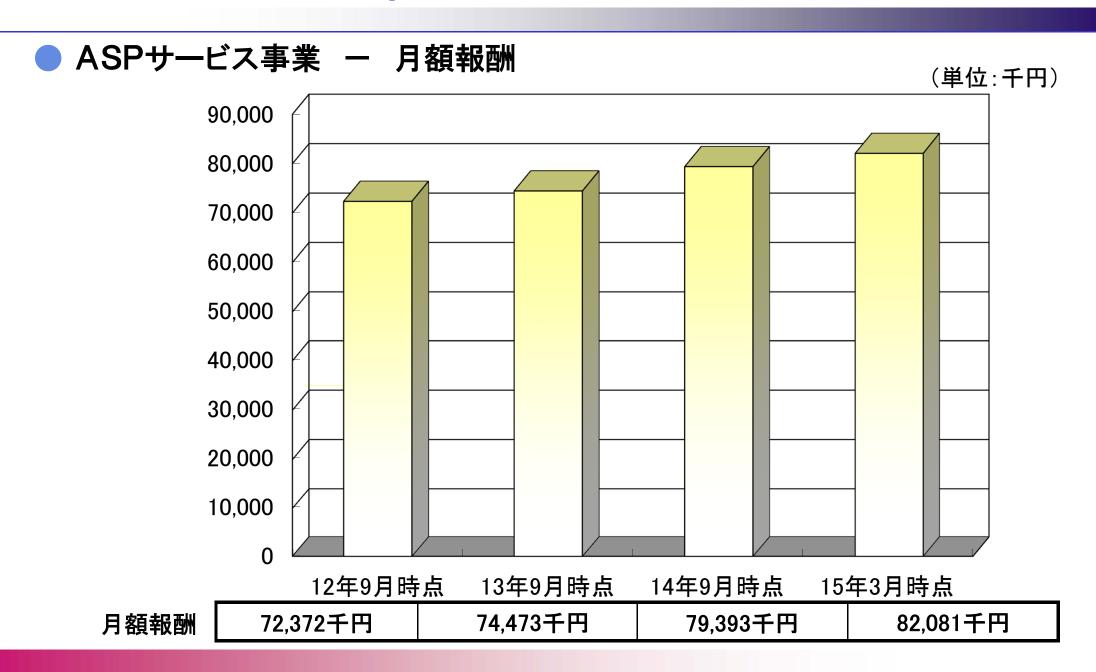
(単位:店舗数)



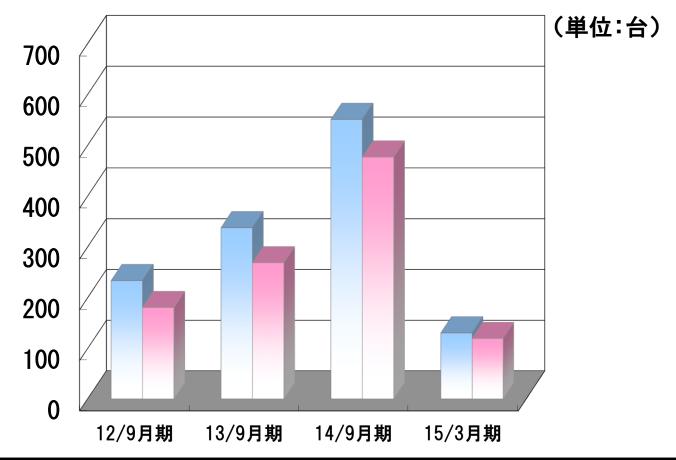
サービス提供数 契約企業数

6,070店舗	6,270店舗	7,039店舗	7,308店舗
306社	289社	282社	283社

主な経営指標の推移②



主な経営指標の推移③



POS販売台数 ODS-TS販売台数

234台	338台	551台	131台
181台	269台	477台	120台





2015年9月期 業績予想

	15/9)	月期 第2四半	15/9月期(予想)		
		構成比	前期比		構成比
売上高	1,024	_	△7.1%	2,000	_
営業利益	13	1.3%	△4.0%	20	1.0%
経常利益	8	0.8%	7.8%	4	0.2%
当期純利益	2	0.2%	66.2%	2	0.1%

セグメント別売上高予想

- ●FOOD GENESIS 稼働開始によるASPサービス月額利用料の漸増
- ●システム機器の新規受注獲得&既存顧客の順調な出店等

セグメント	15/	∕9期 第2四≟	15/9期(予想)		
E / / / / P		構成比	前期比		構成比
ASPサービス事業	489	47.8%	△10.4%	1,100	50.0%
システム機器事業	474	46.5%	7.0%	750	34.1%
周辺サービス事業	61	6.0%	△46.1%	350	15.9%
合計	1,024	_	△7.1%	2,000	_

今期の取り組み一全体

前期までの取り組み継続と、システム機器価格政策の見直し

ベース部品見直し及び機能チップ脱着式

新データセンターの建設・着工 日本一災害時に強いセンターへ

新基準のISO27001取得 更新で、更なるセキュリティの強化

現行製品等の継続的強化と、「飲食店経営管理システム®」Win版の発売

代理店政策の再開により、早期の全国販売網の確立を目指す

新型テーブルオーダーシステムの発売

市場ニーズに応えるタッチパネル式注文端末の拡販

既存ユーザの海外進出に伴う、海外サービス進出の模索

国内での強みをいかした「ハードからソフトまで」を模索



追加注文、販促PR等の売上高アップ

人件費削減、人手不足の解決等



清潔感ある「白」端末も登場

主な特徴

■鮮明な画像:どの席からも見える高精細、広視野角

■クリアな音声:前面スピーカ採用でより鮮明な音声

■感覚的な操作を可能に:フリック・スクロール等

■素早いレスポンス:ネイティブ型ソフトで素早い動作

■Android OSを採用:今後の機能拡張にも対応可能

■非接触充電:接点故障の心配不要、清掃も簡単

■バッテリー交換が可能:本体の買い替え不要

■強化ガラス:タッチパネルに強化ガラスを採用

■安心のソフトウェア:端末、OSなども当社が管理

■安定供給と長期保守:国内で設計・組立なので安心







2015年度 決算進捗状況

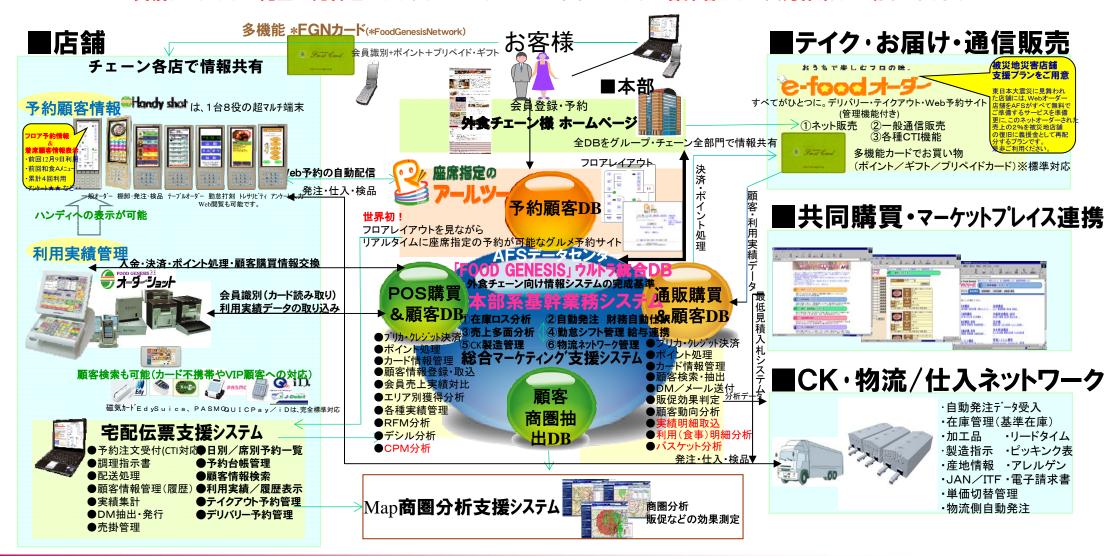
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	実績	計画	計画	計画
売上高	2,441	2,000	2,300	2,500
営業利益	Δ273	20	53	140
経常利益	Δ286	4	37	120

中期経営計画のテーマ 周辺サービス完全統合で新規顧客層の間口を拡大

■外食ウルトラ統合サービス「FOOD GENESIS」は

店舗システム機器/基幹業務システム/Web集客支援サービスを1社で手掛ける、AFSならではの業界初の周辺統合一元管理サービス

●実績データからの完全一元管理だから、すべてのシーンでこれまでのように各部署からの入力作業が一切なくなります●



■今期以降の営業推進策

新規顧客の拡大

既存顧客囲い込み

ASPサービス&周辺サービス事業

- ①アライアンス先との推進を強化
- ②大手ベンダーとの協業を確立
- ③販促支援との一体サービスを拡大

- ①月額の維持拡大のため密着度強化
- ②サービス追加による初期・月額アップ
- ③「販売支援サービス」の追加受注の拡大

「飲食店経営管理システム®」



基幹業務パッケージシステム販売事業

- ①急成長直前飲食店へのアプローチ
- ②全国セミナー開催販売を開始
- ③全国代理店網で、すそ野を開拓

- ①過去1500社18000店舗への再アプローチ
- ②現在の100社1000店舗への入替推進
- ③ASPサービス顧客へのアプローチ

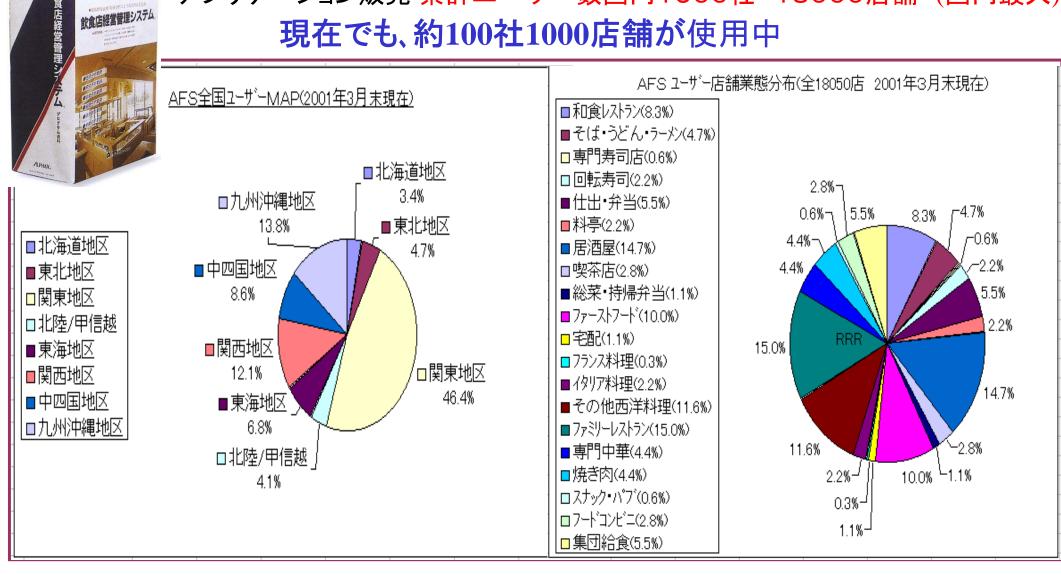
システム機器事業

- ①FOOD C5000低価格投入で受注拡大
- ②業界初の有機EL新型ハンディで商談拡大
- ① FOOD **≪ 5000** への低価格入替提案
- ②新型ハンディへの入替促進(保守費低減)

■「飲食店経営管理システム®」これまでのユ-ザ-数、業態man



アプリケーション販売 累計ユーザー数国内1500社 18000店舗 (国内最大) 現在でも、約100社1000店舗が使用中



■全国代理店制度で、新規顧客の拡大と、すそ野の拡大

●ASPサービス事業・基幹パッケージ事業・システム機器事業双方向からアプローチ

■外食ウルトラ統合サービス「FOOD GENESIS」機能を付加■



■当社の業界ポジション

● 外食業界上位300社から、成長前の小規模飲食店もターゲットへ ●

